



# 三芳町

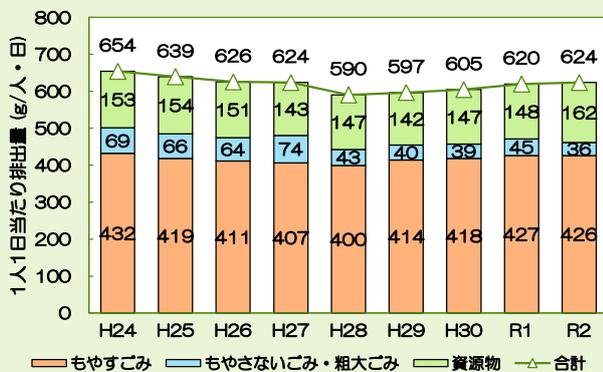


## 一般廃棄物処理基本計画【概要版】

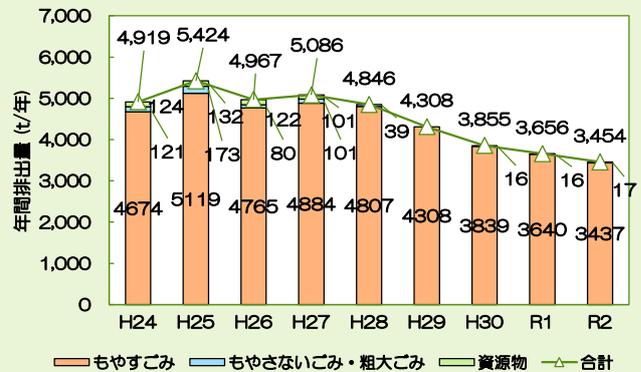
### ごみ処理の現状と課題

三芳町のごみの排出量は、家庭系ごみについては平成 24 年度から平成 28 年度にかけて減少し、平成 29 年度以降は増加傾向にあり、前回計画の目標値は未達成の状況です。一方で事業系ごみについては、平成 28 年度以降減少し続けており、前回計画の目標値を達成できています。また、町のもやすごみの組成から、紙類とビニール類がもやすごみの 7 割以上を占めていることがわかります。町では雑がみや容器包装プラスチックなどを資源物として収集していますが、現状では一部の資源物が分別されずに、もやすごみとして焼却されていると考えられます。

#### 家庭系ごみ 1 人 1 日当たり排出量



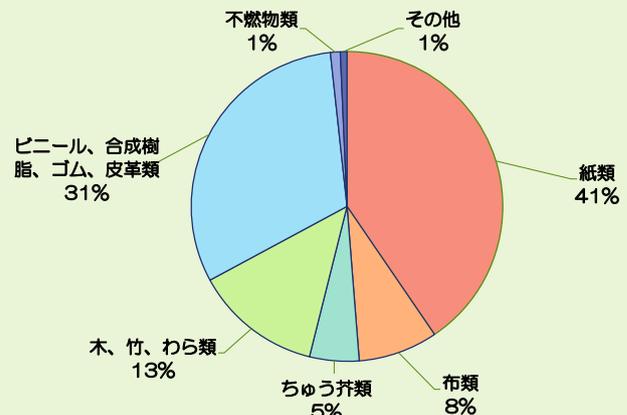
#### 事業系ごみ年間排出量



#### 前回計画の目標値達成状況（令和 2 年度）

	前回計画の目標値	実績値	達成状況
家庭系ごみ (g/人・日)	584	624	×
事業系ごみ (t/年)	4,892	3,454	○
リサイクル率 (%)	27.6	25.7	×
最終処分率 (%)	2.4	0.5	○

#### もやすごみの組成



### 《課題 1》ごみの排出量

ごみ排出量の現状から、**家庭系ごみと事業系ごみの排出量を減らすことが課題**として挙げられます。そのためには、家庭系ごみ及び事業系ごみに占める割合が一番大きいもやすごみの排出量を減らしていくことが求められます。また、**雑がみや容器包装プラスチック類のような資源物を、もやすごみとして出さずに分別することも重要**です。

### 《課題 2》高齢者のごみ出し支援

町では高齢化が進んでおり、高齢者がごみ出し日を間違えてしまうケース等が報告されています。高齢者を始め、**1 人でのごみ出しが困難な人への支援策**が求められています。

## 将来に向けた目標値

ごみの減量化及び資源化に関する施策を実施することによって、家庭系ごみと事業系ごみの排出量削減を目指します。そこで、本計画の最終目標年度である令和 13 年度における目標値を以下のように定めます。

### 【家庭系ごみ】

581 g/人・日  
(R3 年度比で 5 %削減)



家庭系ごみ減量化のための施策を実施することによって令和 3 年度比で約 3 %の削減が見込めます。町ではより一層の減量化を推進するために、更なる減量化努力を行うことで、令和 13 年度までに 5 %削減することを目標とします。

### 【事業系ごみ】

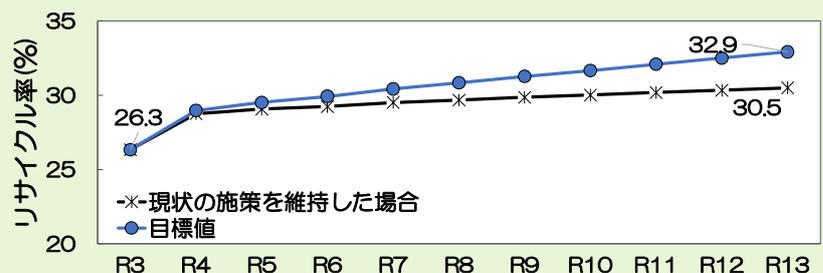
2,943 t/年  
(R3 年度比で 20 %削減)



事業系ごみ排出量は減少傾向が続いており、前回計画の目標値を達成できている状況です。さらに将来推計においても、国及び県の目標値も達成できる見込みとなっています。このように町の事業系ごみ排出量は既に減量化が進んでいるため、前回計画の施策と、その効果を積み上げた目標値を継続することとします。

### 【リサイクル率】

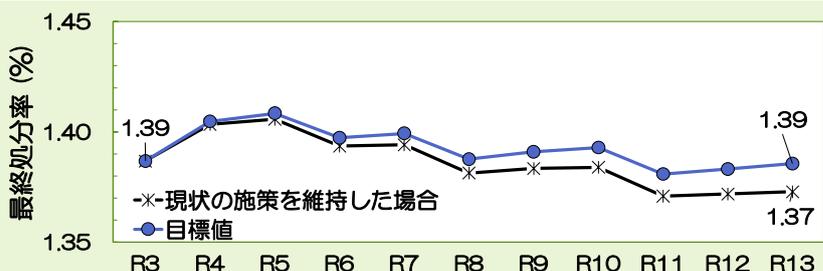
32.9 %  
(R3 年度より  
6.6 ポイント増加)



家庭系もやすごみに含まれている雑がみや容器包装プラスチック類を分別し、資源化することによってリサイクル率を 32.9 %にすることを目標とします。

### 【最終処分率】

1.4 %  
(R3 年度の水準を維持)

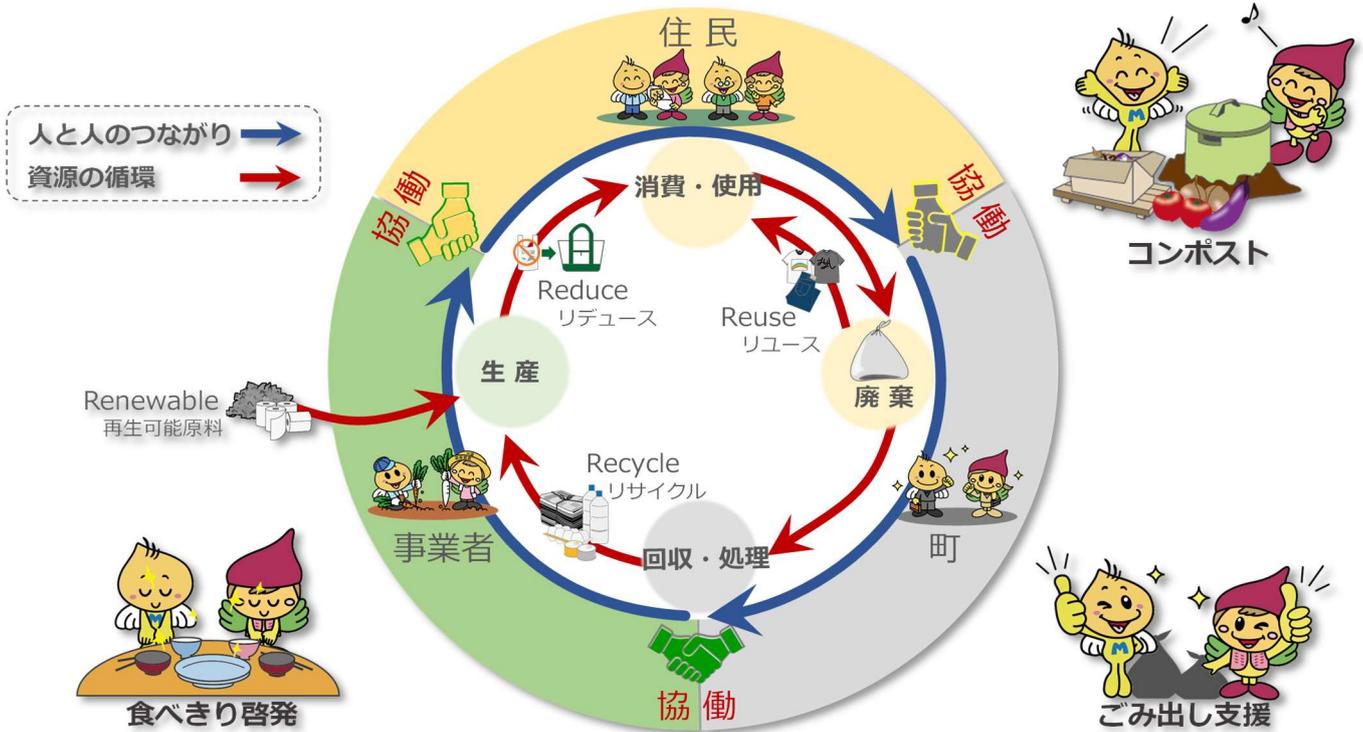


町の最終処分率は国や県の平均に比べて極めて低い水準となっており、前回計画の目標値も達成できています。今後も令和 3 年度の水準である 1.4 %を維持することを目標とします。

## 基本理念

ごみ処理の課題に対して、次の基本理念及び基本方針をもとに施策を実施し、目標値の達成を目指します。

# 人も資源も 循環するまち 三芳町



## 基本方針

### (1) 3R+Renewable の実施

3R+Renewable (Reduce: リデュース、Reuse: リユース、Recycle: リサイクル、Renewable: リニューアブル) を基本として、食品ロスの削減や、プラスチック類や紙類など資源物の資源化、再生材や再生可能資源への原料の切り替えを実施します。

### (2) 持続可能な社会に向けた選択

一人ひとりが資源循環に関わる当事者としての意識をもって、限りある資源を有効に利用し、環境への負荷の少ない行動を選択します。そのために必要な情報は、環境センターにおける環境教育や、町のホームページなどを通して発信し、行動の変容を促します。

### (3) 誰一人取り残さないまちづくり

高齢者等へのごみ出し支援や、食品ロス削減と生活困窮者支援の両方に資するフードドライブを行うことによって、資源循環分野から「誰一人取り残さない」まちづくりを実施します。

## 家庭系ごみの減量化及び資源化に向けた施策

家庭系もやすごみの排出量を減らし、資源化を推進するために、もやすごみ中に占める割合の大きい「紙類」と「ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類」、「木、竹、わら類」に加えて、食品ロスを含む「厨芥類」の4項目について、減量化及び資源化に向けた施策を実施します。これらの施策に取り組み、減量化及び資源化目標を達成することで、ごみ処理にかかる費用を約530万円削減できます。

### 《紙類》

- 紙袋及び使い捨て素材の利用量の削減

目標値

1人1日当たり **8.1 g** を減量化  
(1か月間で約250g減量化)



▲紙袋 (48 g)



▲ダンボール (177 g)

- 資源物の分別の徹底
- ごみに関するホームページ、広報の充実

目標値

1人1日当たり **10.8 g** を資源化  
(もやすごみとして捨てていた  
雑がみを1つ分別する)



▲紙箱 (10.9 g)

紙類の中でも紙袋などは毎日排出される物ではないため、使用する場面毎に減量化に向けた取り組みを行うことが重要です。



### 《厨芥類》

- 計画的な食品購入、エコクッキング等の推進

目標値

1人1日当たり **7.5 g** を減量化



エコクッキング

★適量を買う

★保存を工夫する

★食材を無駄なく使う



### 《落ち葉》

- 木の枝や落ち葉の資源化の促進

目標値

1人1日当たり **0.3 g** を減量化

町の伝統農法である  
「武蔵野の落ち葉堆肥農法」  
に倣い、家庭でも堆肥化に挑戦!



### 《容器包装プラスチック類》

- 過剰包装の削減
- レジ袋及び使い捨て素材の利用量の削減

目標値

1人1日当たり **11.4 g** を減量化  
(1週間で約80g減量化)



▲レジ袋 (3.8 g)



▲ペットボトルの  
キャップ (2.5 g)

- 資源物の分別の徹底

目標値

1人1日当たり **4.4 g** を資源化  
(もやすごみとして捨てていた  
容プラを1つ分別する)

### 三芳ごみ分別アプリ

★下記QRコードからインストールできます。

iPhone



Android

